

函館市文化賞

本市文化の振興・発展に貢献した方などに贈られる「函館市文化賞」の受賞者が決定しました。贈呈式は11月2日にフォーポイントバイシエラトン函館で行います。

お問合せ 生涯学習文化課 ☎21・3464

啄木の研究と郷土文学の振興に尽力

(文学)

桜井 健治さん



長年にわたり、函館ゆかりの歌人・石川啄木の研究者として活躍し、多くの著書や文献を発表するとともに、学会や講演会を通じ、啄木文学の魅力を国内外へ発信し、その普及に尽力されました。

また、郷土の歴史や函館に関わる文学作品を広く市民に伝えるため、積極的な講演活動や執筆に取り組んでいるほか、函館市青少年芸術教育奨励事業の審査員として、次世代を担う青少年の文化芸術の資質向上に努めるなど、本市の文化の振興に貢献されています。

茶道の普及と継承に尽力

(茶道)

三井 とくゑさん



昭和20年に茶道宗偏流へ入門以来、長年にわたり茶道の研鑽を積まれ、自身の茶道の技術向上に努めるとともに、後進の指導育成に尽力されました。

また、函館市茶道連盟会長、事務局長、理事を務め、学校茶道交流会、青函ツインシティ交流茶会、新春茶会などの事業の拡大と定着に尽力されたほか、小中学生に茶道を体験させる函館市文化芸術アウトリーチ事業や、男性が作法にとらわれず茶会を楽しむ「茶遊会」の結成に取り組むなど、茶道の普及、継承に努め、本市の文化の振興に貢献されています。

書道の普及と発展に尽力

(書道)

安保 勝順さん



長年にわたり書道の研鑽に努め、漢字書・近代詩文書で多くの作品を発表し、北海道書道展、毎日書道展、創玄展において高い評価を受けるとともに、審査会員として、全道・全国の書道展において活躍されました。

また、函館書藝社副会長、函玄社会長、北海道書道展理事として、函館のみならず北海道書道界の発展に寄与されるとともに、書道教育の充実や後進の指導育成に尽力されたほか、函館市文化団体協議会会長として、協議会の発展に寄与されるなど、本市の文化の振興に貢献されています。

海藻の研究により地域の振興に貢献

(水産学)

安井 肇さん



道南地域が主産地であるガゴメコンブの有効性をいち早く見出し、バイオファーマーリング技術の開発により、高品質なガゴメコンブを安定的に生産することができる体制を確立するとともに、地元企業等との連携により、ガゴメコンブを活用した化粧品や医療用原材料など多くの商品化に成功されました。

また、北海道大学での学生指導を通じて我が国の水産業を支える人材の育成に尽力されたほか、講演やメディアで研究成果を発信し、地域資源のブランド力向上に繋げるなど、地域の振興、発展に貢献されています。